

令和4年8月29日
予測実験WG事務局

予測実験WGの活動状況

令和4年5月16日地震予知連絡会本会議での「予測実験WG」設置承認を経て、下記の活動を実施した。

1. 活動報告

- ・第1回予測実験WG会議（オンライン）を実施。内容は2に記す。

2. 第1回予測実験WG会議報告とWGからの提案

- ・令和4年7月8日（金）14時～15時半
- ・参加者：遠田委員（主査）、尾形委員、松澤委員、西村委員、堀委員
- ・合議した提案事項
 - モニタリング枠の最後10分を使って、下記2点を報告頂く。
 - 1) 昨年11月に紹介した4手法のうち1つを報告（5分）
（過去の1年間の予測結果の検証を行う）
 - 2) 最近3ヵ月間のイベント、地震活動に関するモデルの紹介（5分）
（事前に「予測」の観点から各機関から話題募集。複数の場合、WGが事前選定）
 - 従来通り11月の本会議重点検討課題にて、予測関連の話題を報告（モニタリング枠で議論されたモデルや、新規予測モデル、最近の研究動向の紹介を中心に）
 - 4手法（案）
 - 地殻変動予測：東北沖地震の余効変動
 - 気象庁震度データベースを用いた地震予測
 - 群発的地震活動を前震活動と仮定して行う本震の発生予測手法
 - 階層的時空間ETASモデルなどによる短期・中期の地震確率予測と検証評価

3. 今後の予定

- ・8月29日（月）午前の運営検討部会にて、上記提案の承認を仰ぐ。
- ・8月29日（月）午後の本会議にて、上記提案の承認を仰ぐ。
- ・10月に第2回WG会議を実施し、11月25日予知連絡会本会議への準備（2.に示したモニタリング枠の最後10分を使った報告内容）と来年2月以降の本会議に向けた実験項目の具体的実施案・体制を確定させる。